

牛久市教育委員会 3月臨時会会議録

1. 日 時 平成28年3月16日(水)午後3時
2. 場 所 市役所分庁舎 第2会議室
3. 出席委員 後藤 雅宣・石井 美知夫・芦田 亜里香・五十嵐 登喜子・染谷 郁夫
4. 委員以外
の出席者 牛久市立幼稚園運営協議会会長 石神 良三
教育部長 川井 聡
次長 中澤 勇仁
教育総務課 課長 川真田 英行
指導課 課長 村松 美一
教育総務課 課長補佐 富田 真幸
指導課 課長補佐 山口 明
5. 会議録署名人 芦田 亜里香
6. 報告事項 報告第5号 牛久市立幼稚園運営協議会中間答申について
7. 議 題 議案第5号 平成28年度教職員の異動内示について

後藤委員長	<p style="text-align: center;">「五十嵐 登喜子」委員を紹介</p> <p style="text-align: center;">(あ い さ つ)</p> <p>開会を宣言する。 会議録署名人 芦田 亜里香 委員を指名する。</p>
後藤委員長	<p>それでは早速議事に入らせていただきます。 報告第5号「牛久市立幼稚園運営協議会中間答申について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
教育総務課長	<p>報告第5号「牛久市立幼稚園運営協議会中間答申について」ご説明いたします。</p> <p>こちらにつきましては、教育委員会からの諮問に基づきまして牛久市立幼稚園運営協議会でご審議いただきまして中間答申という形で本日出されました。</p> <p>幼稚園運営協議会につきましては経緯を申しますと昨年12月17日に第1回目を開催いたしました。そこから1月19日、2月16日と短期間の間に</p>

集中して審議を行っていただいたところです。その前段といたしまして昨年の11月27日に牛久市立第一幼稚園の募集要項等をご覧になった保護者の方の中から保護者の方1名とPTA会長が代表となりまして議会のほうに牛久市立第一幼稚園の園児募集に関する陳情が出されました。第一幼稚園の存続並びに平成28年度以降も園児募集をしてもらいたいとの趣旨で、1380名の署名を添えて議会に提出されました。こうしたこともありまして早急に第一幼稚園の今後について議論する必要があるというところから10名の方に委員をお願いして牛久市立幼稚園運営協議会を12月17日に立ち上げたところです。

本日は、牛久市立幼稚園運営協議会のほうから石神会長が、中間答申を後藤委員長にお渡しするためにご出席いただいております。

石神会長より後藤委員長に中間答申を行う

石神会長より中間答申の理由説明

公立幼稚園については現状の2園体制を維持しつつ第一幼稚園はひたち野うしく地区又はその周辺に整備する必要がある。

幼児教育の重要性

質の高い幼児教育への投資は、低所得者の創出を防ぎ、貧困の連鎖の解消など最も費用対効果の高い投資である。

幼児教育センターと実践の場の必要性

地域における幼児教育センターとしての役割、保護者を含めた地域教育の支援を考えると公立幼稚園の果たす役割は非常に大きい。

保護者の多様なニーズ

保護者の多様なニーズに対応するために公立幼稚園、私立幼稚園、認定子ども園など選択の幅が確保されることが重要である。

通園時間、通園手段のニーズ

公立幼稚園に通う保護者のニーズとしては、自転車で子供を送り迎えできる距離が良いとの意見が多く、通園時間10～15分程度、その距離は3キロ程度となる。未就学児の分布が多いひたち野うしく地区に1園は必要である。

セーフティネットとして地域に根差す必要性

公立幼稚園は、支援が必要な子、家庭教育が必要な父母たちのセーフティネットとなっている現実があり、各地域にあってそこに根付いた公共の幼稚園を

後藤委員長	<p>維持する必要がある。</p> <p>幼稚園ニーズに対する受け皿の数からの必要性 子ども子育て支援事業計画の幼稚園に通わせたいニーズにより公立幼稚園2園は必要である。</p> <p>議案第5号「平成28年度教職員の異動内示について」「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第6項により出席委員の3分の2以上の多数で議決したとき非公開にできる。</p> <p>本議案について非公開の賛否を諮る。</p> <p>全員賛成のため非公開に決定</p>
後藤委員長	<p>以上で非公開を解除します。</p>
後藤委員長	<p>以上で3月臨時会を終了といたします。</p>
後藤委員長	<p>次回定例会は3月28日月曜日、市役所分庁舎第1会議室、13時30分での開催となります。よろしくお願いたします。</p>